

エルミタージュ幻想 (2002)

RUSSIAN ARK

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇 アート

製作国 ロシア／ドイツ／日本

色彩 Color

時間 96分

初公開日 2003/02/22

公開情報 パンドラ

【キャッチコピー】

映画史上初!!

驚異の90分ワンカットの映像

【解説】

世界遺産に認定されているエルミタージュ美術館を舞台に、ロシアの近世から現代に至る300年の歴史を巡り誘う異色アート・ムービー。綿密な下準備の後、ハイビジョン・カメラを使い、90分ワンカット、編集なし、本番一日という条件で撮影された。監督は「モレク神」「静かなる一頁」の名匠アレクサンドル・ソクーロフ。

現代に生きるその映画監督は、ふと気付くと、エルミタージュの中にいた。だが彼の姿は周囲の誰にも見えない。そんなところへ19世紀のフランス人外交官キュスティーン伯爵が現われる。監督は夢か幻想か判断できぬまま、伯爵の案内でロシアの激動の過去と現代を行き来する不思議な時間旅行をすることに。まず目撃したのは、将官に罰を与えているピョートル大帝。そして、慌ただしく走っていく女帝エカテリーナ。冬宮では、ペルシャの使節団がニコライ1世に謁見していた。監督はやがてキュスティーンとはぐれてしまい、大広間に迷い込む…。

【クレジット】

監督	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
脚本	アナトリー・ニキーフォロフ		
	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
撮影	ティルマン・ビュットナー	Tilman Buttner	
美術監督	エレナ・ジューコワ		
	ナターリヤ・コチェルギナ	Natalya Kochergina	
音楽	セルゲイ・イエチenko	Sergei Yevtushenko	
指揮	ワレリー・ゲルギエフ		
出演	セルゲイ・ドレイデン	Sergei Dreiden	キュスティーン
	マリヤ・クズネツォワ	Mariya Kuznetsova	エカテリーナ大帝
	レオニード・モズゴヴォイ	Leonid Mozgovoy	間謀
	ダヴィッド・ギオルゴビアーニ		オルベリ
	アレクサンドル・チャバン		ボリス・ピオトロフスキー
	マクシム・セルゲイエフ		ピョートル大帝
	ワレリー・ゲルギエフ		(特別出演)